

大平地域包括支援センター 担当

日 時： 令和8年3月18日（水）午後2時00分～2時30分

開催方法： 栃木市役所大平総合支所 第3会議室

事例数： 1ケース

参加者数： 11名

事例提供者1名、助言者7名、包括職員2名、

傍聴者1名

膝の痛みやしびれがある 90 歳男性

〈目標〉1日：離床する。室内で足踏み器具を使い運動をする。

1年：足腰を鍛え自立した歩行移動を続け、身の回りの事ができる。

利用サービス：通所型独自サービス

《前回会議での支援策》

歯科受診を促し、入れ歯の調整を行い、食事をしっかり摂れるようにして筋力低下を予防する。

《支援方針》

- ① 入れ歯の調整が必要である。歯科受診を促す方法として、パンフレットを活用して歯科受診が効果的であることを伝えていく。
- ② 入れ歯を外して薬を飲むと誤嚥しやすいので、入れ歯をして服薬する。
- ③ 薬が飲み込めなくなってきたら、薬局に相談する。
- ④ 筋力を維持・向上するには、運動だけでは痩せ過ぎてしまうため食事にも気を付ける。
- ⑤ 膝の痛みには、装具の活用や前かがみにならないような歩行器の使用を検討する。
- ⑥ 入れ歯を治し、食事が摂れるようにして痩せることを防ぐ。
- ⑦ タンパク質が不足すると疲れやすいので、しっかり摂取する。
- ⑧ 受診時の移動手段としては蔵タクが利用できるが、高齢者では登録や予約、時間調整等の支援が必要である。

《支援結果・状況》

- ①支援継続中：歯科受診を予定している。
- ②③⑥達成：問題なく服薬できている。
- ④⑦達成：食事内容を確認し、タンパク質を摂取できていることを確認する。体重減少なし。
- ⑤達成：下肢の痛みの訴えなく、自力歩行移動できている。
- ⑧達成：外出は、息子の支援や福祉タクシー券を使用する。